

さつき保育園からの津波避難誘導 ヘルプマニュアル 第2版 (2023.7)



地震発生後、津波が来るまでの**60分**が勝負です！

ヘルプ者は**安全確認**をしてヘルプに向かいましょう！



【地震発生からのヘルプ者の動き】

担当部署 (ヘルプ者)	担任保育士、栄養診療部、経営管理課、医事課、 医療支援課、総合サポートセンター、 臓器移植センター、臨床研究開発センター、 認知症センター	園長、担任保育士、 医事課 (A)、医療支援課 (B)、 本学：ダイバーシティ推進室 (C)	総務課 (D、E)、がん支援センター (F、G)
ヘルプ対象	0 (ひよこ)、1 (あひる)、2 (りす)、3 (うさぎ) 歳児	4・5 (ぞう) 歳児	全園児
地震発生時	安全を確認し、問題がなければ、ヘルメットを着用してさつき保育園に駆けつける 駆けつけたヘルプ者が何歳児を担当するか、クラス担任が決める (ヘルプ者全員が集合できるとは限らないため、駆けつけたメンバーの中で割り振りを行う) ※ヘルプ者の配置は状況に応じて決定する	A、B は簡易無線を災害対策推進・教育センターに取りに行く 安全を確認し、問題がなければ、ヘルメットを着用して、さつき保育園へ向かう (A、B) ・避難経路、危険物、液状化現象等地盤の確認をする (A、B) 避難経路の危険報告 ・簡易無線にて液状化の状態や避難経路の様子等を D、E へ連絡する (B)	D、E は簡易無線を災害対策推進・教育センターに取りに行く カンファレンス室 2 へ向かう (D、F) カンファレンス室 3 へ向かう (E、G) ・簡易無線にて避難の連絡を受ける (D、E) 受け入れ準備 (D、E、F、G) ・避難児の受け入れ場所を確保し、園児が座れるように整える ・カンファレンス室 2 (D、F) 机といすを全て部屋の奥に移動させ、前方にスペースを作る ・カンファレンス室 3 (E、G) 机といすを全て部屋の奥に移動させ、前方にスペースを作る
津波警報 発令時	避難準備 ・0 歳児の散歩車 2 台の確認、0 歳児を抱っこ (クラス担任・ヘルプ者) ・1 歳児の散歩車 3 台の確認 (クラス担任・ヘルプ者) ・2 歳児の散歩車 3 台の確認 (クラス担任・ヘルプ者) ・3 歳児の確認 (クラス担任・ヘルプ者) ※避難経路に異常がみられた場合、A の指示に従う	避難準備開始 ・4、5 歳児の列を確認する (A、B) 避難開始の連絡 ・避難開始を無線にて D、E へ連絡する (B)	

<p>病院への 避難開始</p>	<p>散歩車または歩いて避難を開始する（1歳児→0歳児→2歳児→5歳児→4歳児→3歳児の順で出発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0、1、2歳児： 保育士とペアになり園児を散歩車に乗せ、後方より散歩車を押す（前方は保育士が誘導） ※ 0歳児で月齢が小さい園児は抱っこして避難する ※ 泣いたり、怖がったりして散歩車につかまって立つことが出来ない場合は抱っこして避難する ※ 散歩車の中で転んだりすることのないよう段差に注意しながら押し進める <p><散歩車></p> <p>0歳児：オレンジ2台 1歳児：ひよこ柄2台、オレンジ1台 2歳児：オレンジ3台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児： 園児と手をつないで一緒に歩いて避難 ※ 泣いたり、怖がったりして歩けない場合は散歩車に乗せたり、抱っこしたりして避難する 	<p>歩いて避難を開始する（1歳児→0歳児→2歳児→5歳児→4歳児→3歳児の順で出発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4、5歳児が出発する前に安全確保を行う（A） <p>安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車ゲート奥の横断歩道での誘導 →誘導が終了次第、病院へ向かう（B） ・ 4、5歳児の先頭で病院まで避難を誘導する（園長、C） <p>※状況に応じてヘルプ者がサポートする</p>	
----------------------	--	---	--

<p>病院職員用 出入口 (正面玄関北側) 到着</p>	<p>病院職員用出入口到着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士はクラス名が分かるようにプラカードを持つ ・0、1、2歳児は、郵便局前通路に散歩車を置き、3歳児が到着後、クラス担任は人数確認を行い園長に報告する ・3歳児は担当ヘルプ者と手を繋ぎ、一列に並ぶ (ヘルプ者1名につき園児2名) ・0、1、2歳児は引率してきた担当ヘルプ者が抱っこをし、一列に並ぶ(2歳児には靴を履かせ、歩ける園児は歩いて、無理な場合は抱っこをする) <p><u>ヘルプ者はクラス担任に自身の名前を伝え、園児の名前を必ずクラス担任と確認する</u></p> <p>(※0～3歳児全員が無事に避難できるまで、繰り返す)</p>	<p>病院職員用出入口到着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士はクラス名が分かるようにプラカードを持つ ・4、5歳児を整列させ、人数確認を行う(園長、C) <p>安全確保：1階階段扉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段が常時開くようストッパーをセットし、階段へ誘導する(A) ・園児全員の無事を確認しながら、最後尾から上がる(B) 	<p>安全確保：4階階段扉(F)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段が常時開くようストッパーをセットし、誤って閉まらないようにする <p>0～3歳児は カンファレンス室2へ 4、5歳児は カンファレンス室3へ誘導する</p>
<p>外来棟4階 カンファレンス 室2、3へ 避難開始</p>	<p>職員用階段を使用し、外来棟4階カンファレンス室2・3へ避難開始</p> <p>(1歳児→0歳児→2歳児→5歳児→4歳児→3歳児の順で階段を上げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士が先頭に立ち、避難誘導を行う ・ヘルプ者は担当児を抱っこもしくは手を繋いで、職員用階段を上がって避難する (抱っこの場合は園児の靴も持って上がる) ・歩ける園児から先に避難を行い、送り届けたヘルプ者は、その後抱っこが必要な園児の避難を行う 	<p>職員用階段を使用し、外来棟4階カンファレンス室3へ避難開始</p> <p>(1歳児→0歳児→2歳児→5歳児→4歳児→3歳児の順で階段を上げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長、Cが先頭に立ち、避難誘導を行う <p>※状況に応じてヘルプ者がサポートする</p>	<p>避難誘導(D、E、F、G)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス室2への避難を安全に誘導する(D、F) ・カンファレンス室3への避難を安全に誘導する(E、G)

	※0～3歳全員が無事に避難できるまで、上記を繰り返す (体調不良がないか確認しながら階段を上げる)		
避難場所へ 最初の児が 到着	避難場所（カンファレンス室2・3）へ到着 <ul style="list-style-type: none"> 到着したら、先導した保育士はクラス名が分かるようにブラカードを持ち、園児の名前を確認後着席させる（先導した保育士は避難場所にて待機し、園児の見守りを行う） <カンファレンス室2> <ul style="list-style-type: none"> 0歳児は、抱っこしたまま整列する 1歳児は、抱っこ又は膝の上で靴を履かせて、抱っこしたまま整列する 2歳児は、抱っこから降ろし園児を整列させる <カンファレンス室3> <ul style="list-style-type: none"> 3歳児クラスは、園児を整列させる <ul style="list-style-type: none"> 泣いている園児には抱っこや声掛けを行い落ち着かせる 排泄、漏らし、嘔吐、怪我等あれば対応し、必要な物品があればD、Fまで伝える 	避難場所（カンファレンス室3）へ到着 <ul style="list-style-type: none"> 到着したら、保育士はクラス名が分かるようにブラカードを持ち、園児の名前を確認後着席させる（園長、C） 最終確認 <ul style="list-style-type: none"> 最後尾を確認し、無線で避難場所にいるD、Eに連絡する（B） 階段、通路等の最終確認を行う（A） 	安全見守り（D、E、F、G） <ul style="list-style-type: none"> 名簿にて園児の名前を確認し、着席を補助する カンファレンス室2（先導した保育士、D） カンファレンス室3（園長、E） 到着後の園児への対応をする（F、G） 例：排泄、漏らし、嘔吐、怪我等に対し、必要物品や補助が必要であれば対応する
避難完了	避難完了報告 <ul style="list-style-type: none"> 到着した園児の人数と名前を確認する（クラス担任） 避難完了	避難完了報告 <ul style="list-style-type: none"> 到着した園児の人数と名前を確認する（園長） カンファレンス室2にいる先導した保育士に0～3歳児の避難完了状況を確認し、園長へ連絡する（A） 避難完了	避難完了 <ul style="list-style-type: none"> 園長から避難完了の報告を受け、病院長へ報告する。（D）

さつき保育園からの津波避難経路



さつき保育園

徒歩又は散歩車(避難車)で移動

オレンジ6台

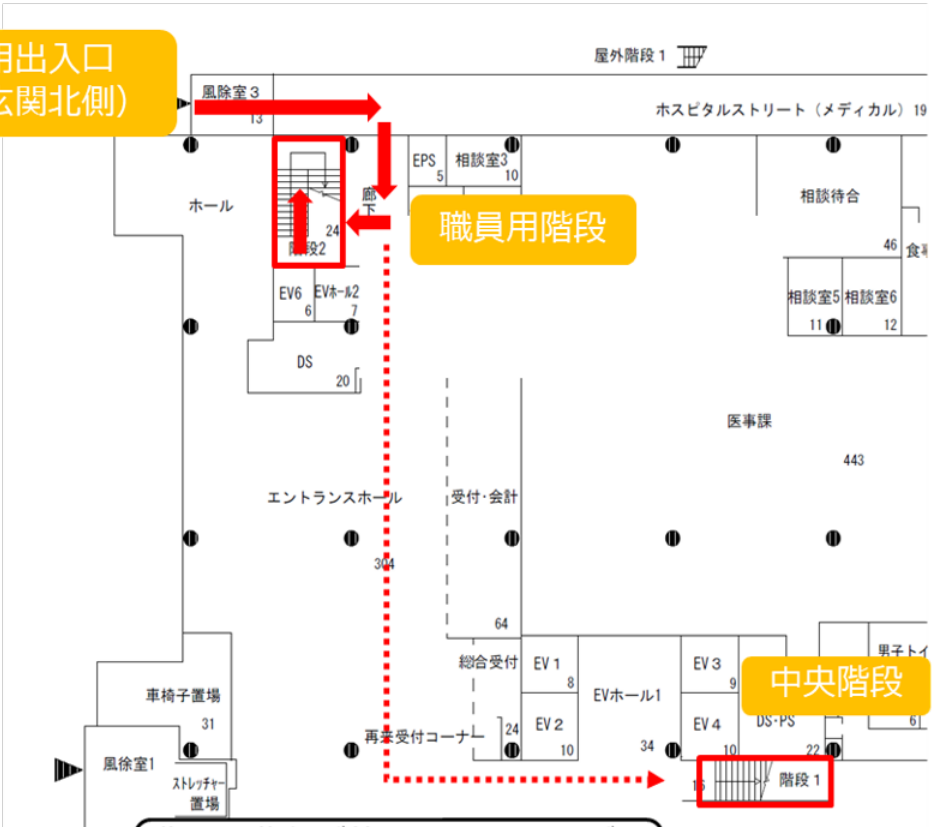
ひよこ柄2台



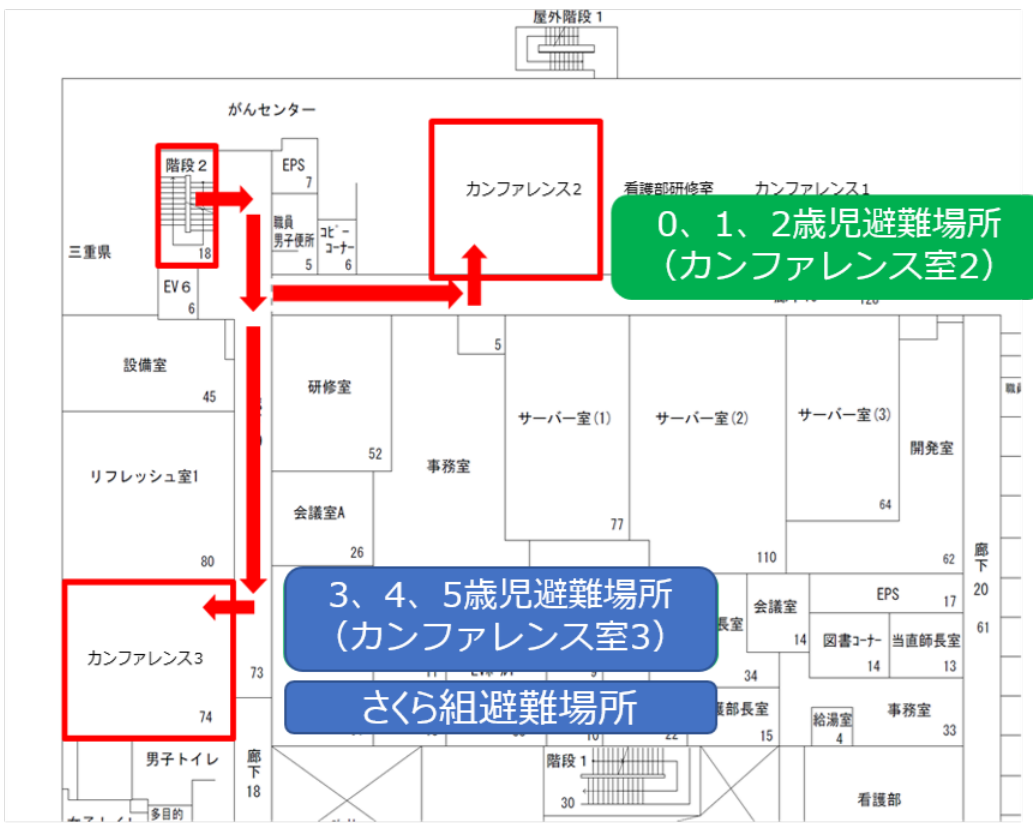
外来・診療棟

病院職員用出入口（正面玄関北側）から 外来棟 4階カンファレンス室 2・3までの避難経路

職員用出入口
(正面玄関北側)



職員用階段が使用できなければ、
中央階段を使用



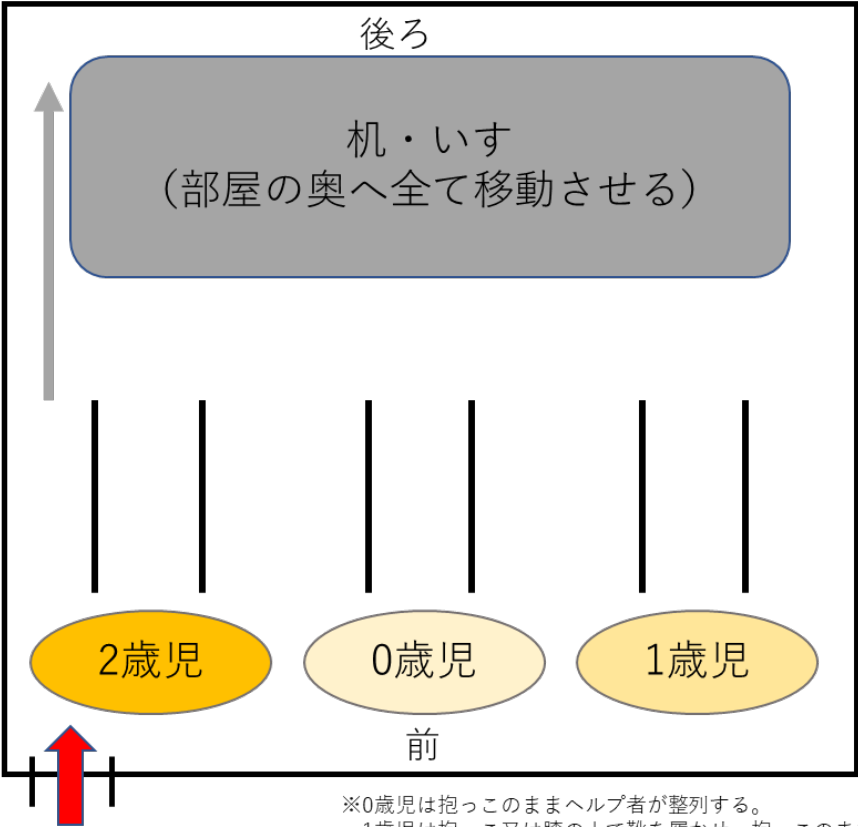
0、1、2歳児避難場所
(カンファレンス室2)

3、4、5歳児避難場所
(カンファレンス室3)

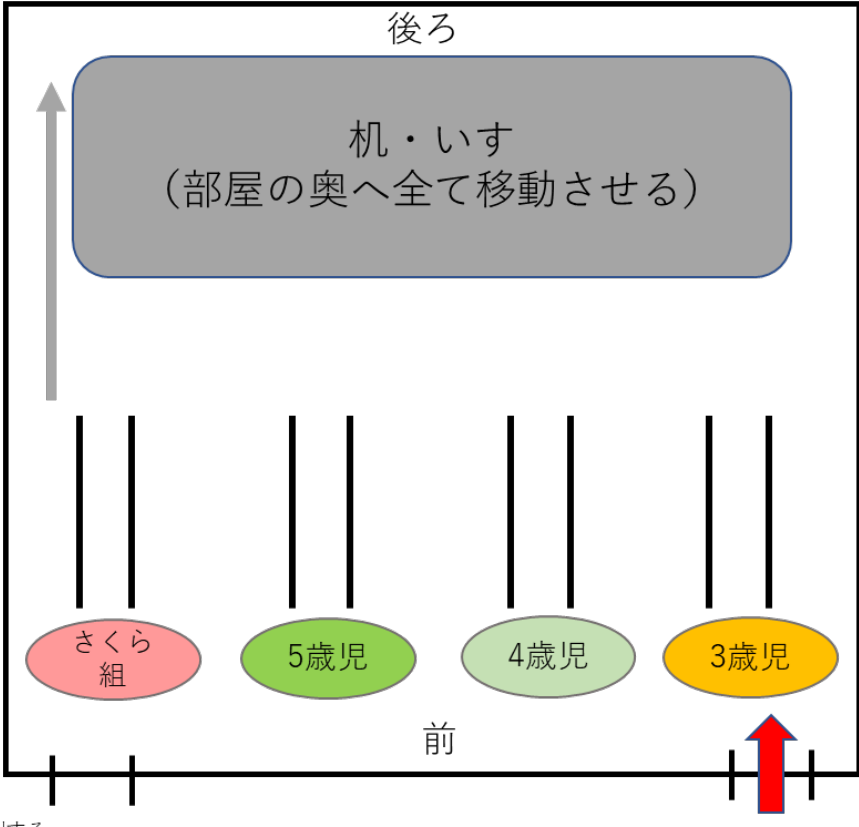
さくら組避難場所

カンファレンス室2・3 配置図

◆カンファレンス室2 (医療情報管理部前)
0・1・2歳児



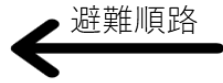
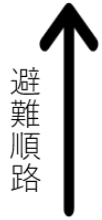
◆カンファレンス室3 (栄養診療部前)
3・4・5歳児、さくら組



※0歳児は抱っこのままヘルプ者が整列する。
1歳児は抱っこ又は膝の上で靴を履かせ、抱っこのままヘルプ者が整列する



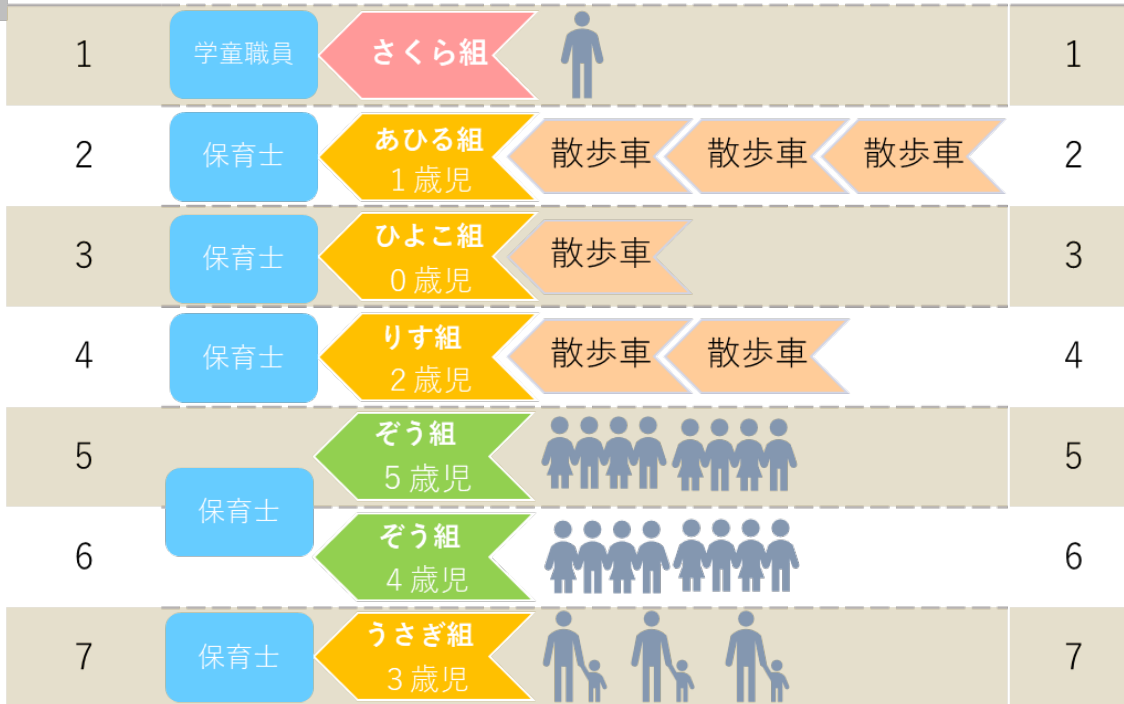
病院1階職員用出入口到着後イメージ図



病院1階職員用出入口

病院1階
出発順

病院到着順



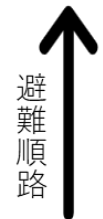
先頭

2歳児クラス
靴を履かせる
スペース

駐車場



※郵便局入口の妨げにならないよう注意し、散歩車を置く



令和5年度訓練の様子



4・5歳児は2人ペアで手を繋いで職員用出入口へ向かう



0・1・2歳児は散歩車で、3歳児はヘルプ者と手をつないで避難



病院に到着後、職員用出入口横で整列・人数確認



0・1・2歳児は抱っこ、3・4・5歳児は見守りで外来棟4階カンファレンス室2・3まで避難



カンファレンス室2・3の机は後ろに移動させ園児が整列するスペースを確保



カンファレンス室2・3に到着後、0・1歳児は抱っこ、2・3・4・5歳児は整列して人数確認

継続して避難が必要な場合のさつき園児待機場所

◆継続して避難が必要な場合（目安：4～24時間）

→カンファレンス室 2・3 から**外来棟 2 階：小児科外来**に移動し、待機する

※小児科外来にて園児を保護者に引き渡す

- ・0歳児 + 1歳児・・・TVコーナー
- ・2歳児 ・・・絵本コーナー
- ・3歳児 ・・・奥の診察室前
- ・4歳児 + 5歳児・・・受付前

※必要であれば授乳室も利用



【南海トラフ地震発生時の被害想定について】

1) 理論上最大の南海トラフ地震発生時の震度

震源地 M9.0 で、三重大学附属病院付近は**震度6強**（津市 HP より）

2) 理論上最大の南海トラフ地震発生時の津波時の津波が到達するまでの時間

1m (67分)、3m (132分) （平成 24 年 8 月内閣府報告津市地域防災計画より）

3) 津波浸水被害

1m~2m（津市 HP 津市地図情報提供サービスより）

※志登茂川（河口付近）最大津波高（満潮時）：3.5m

（平成 26 年 3 月 三重県地震被害想定調査結果）

4) さつき保育園の2階の高さ

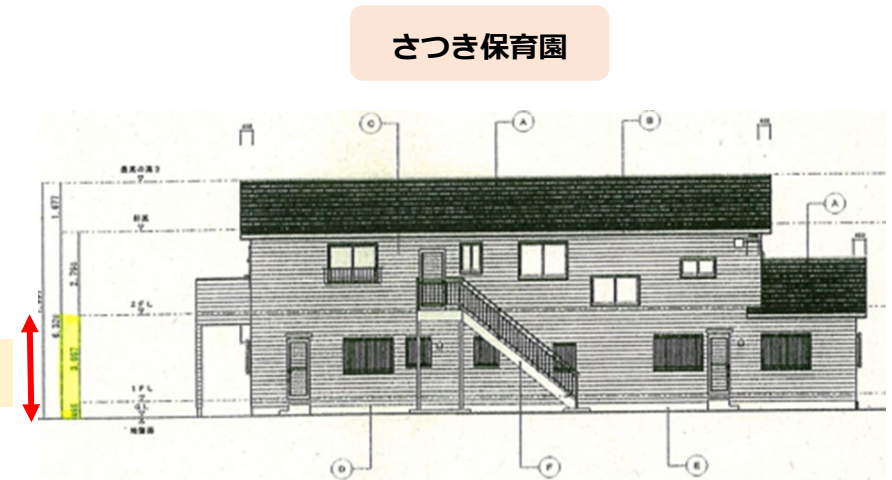
地上高：**3.52m**（経営管理課確認）

5) さつき保育園~三重大学附属病院正面玄関までの距離

370m（Google マップより）

6) さつき保育園~三重大学附属病院正面玄関までの所要時間

5分（参考：R4年度さつき保育園津波避難訓練の所要時間）



【さつき保育園からの避難誘導ヘルプマニュアル策定部会】

委員長 岸和田 昌之

副委員長 岩本 豊一 山崎 あかね

委員

〈さつき保育園〉 見並 勝美 野田 裕夏

〈さくら組〉 松崎 美由紀 佐藤 千恵子

〈ダイバーシティ・インクルージョン推進室〉 木村 信之

〈総務課〉 小島 佑介 東内 陽佑 山田 彬香

〈医療支援課〉 福田 雄一

〈医事課〉 奥野 照彦

〈災害対策推進・教育センター〉 寺村 文恵 稲葉 枝織 下高原 悠 喜井 美恵